

7月30日 ジュニア見学会 感想

明神山トンネル・鹿野川ダム

今回、僕は明神山トンネルの工事現場と鹿野川ダムを見学して、たくさん知識を深めることができた。トンネルの工事現場は切羽、ホイールジャンボなどの機械や工夫されていることも学んだ。なかなか見るのできない貴重な体験だった。鹿野川ダムは設備が多くあり、しっかり見学した。特に驚きだったのは呑口ゲートの設備が日本最大だということだ。知識もより深めることができ、関心を持った。そして、とても楽しくできたので良かった。防災についてしっかり学びたい。(中学生)



明神山トンネル工事では、どのように掘っていくかやこれとこれを混ぜたら泡状のトンネル工事に役立つものが作れるなどたくさんのが学べてよかった。鹿野川ダムでは、100まであった水を40排出するという事などダムで働く人は水を排出することだけでなく雨がいつ降るかなどの予測などもしていることが分かった。たくさんのが学べてよかった。(中学生)

明神山トンネル工事現場を見にいって、私はトンネルをつくっている所は初めて見たのでとてもいいけいけんになった。帰ったらお母さんやお父さんなどの人に教えたい。鹿野川ダムを見に行き、私はダムには2回ちがうところへ行っていることがあるので比べられてよかった。大洲市の肱川について聞いた時、土地が低いからしん水しやすいことが分かった。また、重信川と肱川のちがいが分かって良かった。(小学生)

トンネル工事では、高速道路の大切さが分かった。災害のときに、道が壊れても、4つ道があると、2つ通れなくても残りの2つを使えるので、道を4つにしていることが分かった。山がくずれないように、パイプをさすことにおどろいた。ダムではダムの仕組みやはたらきをわかりやすく教えてもらった。災害を防ぐダムの仕組みを、もっと知りたくなった。(小学生)



明神山トンネルは、きちょうな体験ができた。トンネルのつくりかけや、トンネルをほるための道具、防災シートへのらくがきなど普段できないことができた。鹿野川ダムはダムのおおまかなしくみからこまかい所までいねいに紹介してくれてよくわかった。(小学生)



私はよく高速道路を利用する。だが、トンネル工事のことなど考えてもいなかった。よく考えると山にとっても長い穴を掘ることはたくさんの時間がかかる。暑い中、穴を掘り進め、車が通れるように工事してくれていることを知り感激した。また、あの明神山トンネルに自分の名前を書けてうれしい。あのトンネルを通るたびに思い出すと思う。ダムの大きな役割は「治水」「利水」であるということも覚えた。(中学生)

明神山トンネル工事では疑問に思うことがたくさんあったので質問した。チューブを挿して薬を入れて崩れにくくするそうだが、イメージできなかったので教えてもらった通り、家でプリンや豆腐につまようじをさして形が変わらないかどうか実験してみようと思う。鹿野川ダムでは、階段での移動が多くて大変だったが、実際に放水するところを近くで見れたり、曝気装置が作動している様子も確認できた。一人で参加したので不安だったが、おしゃべりしてくれる友達と出会えたので、楽しく過ごすことができた。(高校生)

8月6日 ジュニア見学会 感想

明神山トンネル・橋梁工事

いつもは、きれいに塗装されたきれいなトンネルしか見たことがなかったけれども、実際に開通するまでのトンネルの内部を見ることができて、防水シートが貼られていることや鉄筋棒が上にも横にもたくさん貼られていることにしょうげきを受けた。また、「高速道路のトンネル」に入ること事態がとてもきちょうな体験でとても楽しかった。それに加えて、外からも見ることで、トンネルの内部とのつながりが見えて工事が着実に進んでいることがよく分かった。(中学生)

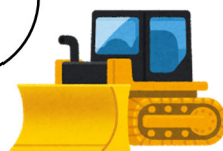


いつもあたり前のようにとおっている道も、私たちのために安全にしっかりと作っている人等に改めてすごいと思った。トンネルにかんしては一日ずつと掘り進めていることをはじめ知り、泥水だと環境に悪いため人体に無害な薬品を使って水を砂に分離されているのを見てとても興味深かった。トンネルを作っている中で様々な機械や人手などが携わっていることを知り、今度トンネルをとおる時にはトンネル内の様子をきちんと見てみたいと思った。また、今日知った知識についても覚えておきたい。(中学生)

トンネル工事の際に使われる機械や部品、その名称を教えてもらったり、実際の機械が動くところや汚水処理の様子を見せてもらったりと、普段見ること、知ることのできない体験がたくさんできた。防災のために私たちにできることは、災害を防止するための個人の知識を蓄えるだけではなく、災害が起きたときの周辺の状況をどう判断し、的確な行動ができるか、そしてその行動をおこすためにどのような状態が必要であるかを知ることだと感じた。トンネル工事はトンネルのことでなく、工事に必要な物を運ぶための道路の確保など、トンネル周辺の土地の所有者の方々の協力が必要だと知り、工事現場で働く方々も、その周辺で暮らす方々も私たちのまちの防災に携わる人手あるのだと実感した。(高校生)

私たちが普段通っているトンネルも、たくさんの方の協力によって出来上がっているのだと改めて思った。私が一番驚いたことは、すべて機械によって行うのではなく液を作って岩を固めたり、岩の中に鉄の棒を入れることを人の手によって行われているということだ。また防水シートにみんなでイラストや名前を書いたことは、とてもいい思い出になった。これからトンネルを通るとき、必ず今日のことを思い出そう。作業員さんたちに感謝。(高校生)

今回の見学会で普段なら絶対に行けないトンネル工事現場などに行けて良かった。トンネルを掘る時は、ただ穴を開けてコンクリートを流して終了だと思っていた。しかし、実際は、付近の地形を調べたり、掃除をしたりと裏で頑張っている人がたくさんいたことに驚いた。世の中、その様な人がいるから成り立っているということを再確認できたので、感謝して生きていきたい。(高校生)



今まで当たり前のように通ってきたトンネルには、隠れた秘密がたくさんあることに気が付いた。トンネルをほるためにドリルのような機械があったり、ほった後すぐにセメントを吹き付け、土が落ちてくるのを防いだりして、とても工夫されている。トンネル工事現場を見て、一番思ったのは、人間の力はすごいということだ。配管や電線、換気口、工事用の車両など、あの山のとんねるに、これらすべて配置するのは簡単ではないと思う。きっとこれからももっと進化していく工事現場とみていきたいなと思った。(高校生)



一つ一つの構造に何かしらの工夫があって、その工夫も、割と人の手によって作られている。例えば、鉄筋コンクリートの骨組みを人の手で運んだりとか、防水シートも人の手で貼る。人の命がたくさんかかっている。今の世に必要不可欠なトンネルを作る仕事をかっこいいと感じたし、作業している人たちの何か、ほこりのようなものを感じた。質問等にもたくさん答えていただいて有意義な時間だった。(高校生)

トンネルを作る時は、たくさんの機械やたくさんの人が関わって長い期間で作っているのがすごいなと思った。また、空気が悪い中で一生懸命、人のために働いてくれている工事の方々に感謝して生活したいと思う。橋梁工事は高所での作業になって本当に大変だなと思った。今回の体験で普通の日常では味わえないようなことも体験できたので、家族にも教えてあげたい。まだ未完成のトンネルははくりよくがあり、とても面白かった。防水シートにもらくがきをすることができ、よい思い出になった。色々な発見があったので、これからトンネルを通る時にはそこにも注目して通りたい。(高校生)

私は工業高校生なのでこのような工事現場などはすごく興味を持った。化学が専門なので、特に2つの液を混ぜると体積が何倍にも増えたのには一番興味が出て、どのような物質なのだろうとも思った。とても大変そうな工事をしている現場の人たちにはとても尊敬する。将来、自分も、ものづくりで誰か貢献できる人になりたい。(高校生)



普段体験できないことを体験することができてとてもいい経験となった。トンネル見学では、トンネルの構造を知ることができたり、機械を見ることができてとても役に立った。トンネルはたくさんの人の労働と苦勞から完成していることを実感した。また、実験では、環境に配慮して、きれいにしてから水をすてていることが印象的だった。トンネル工事は大変ということが分かったので、この大変さを家族にも伝えたい。橋梁工事現場では、とてもきれいな景色を見ることができて、とても感動した。初めての経験がたくさんでとても勉強になった。(高校生)

ふだん特に考えずに使用していたトンネルがどんな風に作られているのか、作るのにどれだけの人が関わって完成までにどれだけの時間がかかるのか、実際にNEXCOの方々からお話を聞くことができて、近くで現場を見れてとても良い機会となった。一日に4mくらいしか掘り進めることができなかつたり、とても重い道具を使って作業している事を知り大変なお仕事だなと改めて感じた。トンネルを通る機会はたくさんあるので、次、通るときは見る視点が少し変わらと思う。作ってくれている方々への感謝の気持ちを忘れず使用させていただきたい。ありがとうございました!!! (高校生)

明神山トンネルの見学では、普段使っているトンネルの工事の様子を見ることができ、よい経験になった。トンネルはただ、山を掘れば良い、というだけではないことを知り、地質に合った工事のやり方で安全に進めていることも知った。また、橋梁工事の現場を高台から見学した際、先ほどのトンネルとはまた違うトンネルが見え、その上に民家が見え、「場合によっては避難せざるを得ない(その住民が)」ということを知り、大変なだけでなく、命懸けな工事でもあることが分かった。(高校生)